

その他の あそび



いろいろな伝承あそび

92 木登り

木の枝や幹のでこぼこを頼りに木の上を目指して登るあそび。登った時の達成感や下る時のスリルを味わい、自然に対する感性や運動神経を養う。ロープや器具を使って登る木登りもある。

【検索：ツリークライミング、ツリーイング】

93 コリントゲーム

釘を打って穴をあけた木製の盤に、棒で突いて玉を転がし、穴に入った点数を競うゲーム。市販されているが、自分で作る場合もある。スマートボールやピンボール、パチンコにも似ている。

【検索：スマートボール】

94 チャンバラ

棒や新聞紙を丸めたものを刀に見立て、時代劇等のように刀をぶつけあって戦うあそび。本気で行くと危険なので、ケガをしない・させないルールを考える。「スポーツチャンバラ」は、ヘルメットをかぶって柔らかい棒で戦う。直接たたくことは禁止の寸止めルールなどもある。人を相手にするのではなく、木や竹などを相手にしたり、段ボール、使わなくなったのぼり旗やカーテンを悪役にして戦うこともある。

【検索：スポーツチャンバラ】

95 花輪・草相撲

クローバーやレンゲ、たんぼほの茎などを編んで花輪を作り、頭に飾ったり壁にかけたりする。一方、茎そのものを利用して引っ張り合うのが草相撲。単純に切れたら負け。クローバーやたんぼほの他、オオバコや松葉などで勝負する。 【検索：草輪、草相撲】

96 山崩し、棒倒し

将棋の駒を盤の上に積み上げ、音を出さないように崩したり、砂場で山を作って頂上に棒を立て、棒が倒れないように砂をかいたりするあそび。運動会で相手のチームの棒を倒す競技と同様、棒倒しと呼ばれることもある。他にも棒倒しと呼ばれるあそびには、お手玉を積み上げたり、ストローを使って遊んだりするものもあり、スウェーデンのあそびで「クップ」も棒倒しのあそびのひとつ。 【検索：クップ、棒倒しゲーム】

97 おしくらまんじゅう

外側向きに輪になって、「おしくらまんじゅう、押されて泣くな」と言いながら、内側に向けて押し合いをするあそび。寒い日には欠かせない、身体を暖めるあそび。

98 腕相撲・座り相撲・尻相撲・指相撲

身体の部位を使って、2人で取り組みを行って勝負するあそび。腕相撲は、手を組んで肘上で勝負。座り相撲は、対面して座って押し合って勝負。尻相撲は、互いにお尻で押し合う勝負。指相撲は、手を組んで親指で勝負する。力だけが勝負ではなく、タイミングやバランスが大事で、単純だが白熱するあそび。

99 ①どっちへとんだ？②どっちにある？③表か裏か？

①「どっちへとんだ？」は、輪ゴムを切ったものを用意して両端をげんこつで握り、相手に見せながら、どちらかのげんこつを緩めて、どちらに輪ゴムが消えたか当てるあそび。②「どっちにある？」は、背中に手を回し、石やコインをどちらかのげんこつの中に入れて、相手にげんこつを見せて当てるあそび。③「表か裏か？」は、コインを上にはおいて落ちたタイミングでコインを隠し、そのコインが表か裏かを当てるあそび。どれも単純なあそびで、素早く行くと手品のように楽しめる。

100 早口言葉

早口で言葉を言って間違えなければ勝ち。例えば、「ナمامギ、ナマゴメ、ナマタマゴ」「東京、特許、許可局」「となりの客は、よく柿食う、客だ」「スモモも、モモも、もものうち」等々、早口言葉のレパートリーを増やすのも楽しい。

101 しりとり

言葉の最初と最後をつないでいくあそび。「ん」で終わったら負け。「地名しりとり」のようにお題をつける、3文字の言葉だけでしりとりをする、しゃべらずに絵をかいてしりとりをするなど、遊び方もいろいろ。

102 ゆびかけ

影絵は、光を当て、手指を組合せて動物や鳥などを壁に映し出して、その絵を楽しむあそび。「きつね」や「犬」「あひる」「かに」「とり」などが代表的。夜はライトなどで、昼は太陽の光で影を作って遊ぶ。歴史は古く、江戸初期にはあそびとして定着。

103 しゃぼん玉

しゃぼん玉は、江戸時代に江戸で流行したと言われているが、当時はしゃぼん玉とは言われておらず、神奈川では、ペリー来航時に「しゃぼん」を持ってきたことが絵巻にかかれている。石鹼を溶かした中に松ヤニやトチの実をつぶして入れると光沢のきれいなしゃぼん玉ができる。どこまでとぶか、いつまで壊れないか、大きくできるか競って遊ぶ。

104 あっちむいてホイ

2人が向き合ってじゃんけんをする。勝った人が負けた人の顔の前に指を出し、「あっち向けホイ！」と言って上下左右のいずれかを指し、その方向に顔が向いたら負け。向かなかったら、「あいこでしょ、あっち向けホイ！」と言って繰り返すあそび。

105 お皿にお箸

「お皿に（パー） お箸に（チョキ） ぼたもち（グー） だんご（親指と人差し指で丸をつくる）」とテンポよく歌いながら両指で形を作り、だんだんテンポを速くしていき、間違えた人は抜け、最後までできた人が勝ち。（厚木市付近で伝わるじゃんけんあそび）

106 すいすいすっころばし

輪を作り、みんな手を軽く握って穴を作る。みんなのこぶしの穴を、1人が「すいすいすっころばし ごまきそすい 茶壺に追われて とっぴんしゃん 抜けたら どんどこしょ～」と歌に合わせて順番につついていき、歌が終わったところでつつかれた人がオ二になり、繰り返すあそび。

「俵のねずみがコメ食ってちゅう ちゅうちゅうちゅう おっとさんが呼んでも
おっかさんが呼んでも いきっこなしよ 井戸のまわりで お茶碗欠（か）いたの
だあれ」

107 おちゃらかほい

向かい合って手をつなぎ、リズムに合わせて「せっせっせーのヨイヨイヨイ」とつないでふったり交差させたりする。その後に「おちゃ」で拍手し「らか」で互いに両手を合わせて3回続ける。その後に「ほい」と言ってじゃんけんをする。再び「おちゃらか」をし、じゃんけんに勝った人はバンザイ、負けた人は両手を下げる。あいこの場合は、2人腰に手をあてる。これが一連の動作で、リズムカルにスピードをあげて楽しむあそび。
【検索：お寺の和尚さん】

108 あがり目 さがり目

「あんがり目 さんがり目 ぐるっと回って ねこの目」と歌いながら、両目の目じりを人差し指で動かしながら遊ぶあそび。「ねこ」を「にゃんこ」という地域もある。

109 ならめっこ

2人組で向き合い「だるまさん だるまさん ならめっこしましょ 笑うと負けよ」まで普通の顔で歌い、「アップップ」で変顔になって、笑った方が負け。

【検索：だるまさん】

PICK UP

グリコ（グリコのおまけ）

大股で、大きな声で、「チ・ヨ・コ・レ・イ・ト」

階段の上り下りや移動もあそびにしてしまう子どもたち。単純にじゃんけんをして進むだけですが、歩幅を最大限に広げたり、離れすぎないように狭めたり、相手との距離をはかりながら遊びます。

110 グリコ

- ①スタートとゴール地点を決め、じゃんけんをする。
- ②じゃんけんをしたら、勝った人だけ決まった歩数分、言葉を声に出しながら進む。

グー = 「グリコ」 = 3歩
 パー = 「パイナップル」 = 6歩
 チョキ = 「チヨコレイト」 = 6歩



- ③ゴールに一番先に到着した人が勝ち。

<あそびワンポイント！>

ローカルルールでは、グーで勝った時は、「グリコのおまけ」と言って6歩進む場合や「グリコのおまけつき」と言って7歩進む場合もあるようです。また、ゴールにぴったりの歩数で終われない時は、スタートに折り返すというルールなど、いろいろなバリエーションを楽しむことができます。ただし車や人の往来などには、十分に気をつける必要があります。

111 ランドセルじゃんけん

似たようなあそびで「ランドセルじゃんけん」があります。下校時にじゃんけんをして、電柱や目立つ家等を基準に、次の場所まで一番負けた人が他の友達のランドセルと一緒に持って移動するあそびです。罰ゲームのようにも見えますが、無理強いせず、大変だったら距離を狭めたりして、帰りがけに楽しく遊ぶあそびです。

ただし、最近は、社会事情から安全に家に帰ることが求められていたり、習い事などで一緒に帰ることができなかつたりして、下校時に見かけなくなりました。